

令和3年度病害虫発生予報第10号

長崎県病害虫防除所長

向こう1か月間における主な病害虫の発生動向は次のように予想されます。

農作物名	病害虫名	発 生	程 度
		現 況	予 想
きゅうり	退緑黄化病 (防除情報第19号)	多	多
	べと病	並	並
	うどんこ病	並	並
	褐斑病	少	少
	菌核病	並	並
	灰色かび病	並	並
	ミナミキイロアザミウマ	やや少	やや少
	コナジラミ類	並	並
トマト	黄化葉巻病	やや少	並
	灰色かび病	並	並
	コナジラミ類 (防除情報第20号)	多	多
たまねぎ	白色疫病	並	並
	ネギアザミウマ	並	並
いちご	うどんこ病	並	並
	灰色かび病	並	並
	アブラムシ類	並	並
	ハダニ類 (防除情報第21号)	多	多

【発生予報】 本文の () 内は平年値

きゅうり

1. 退緑黄化病

令和4年1月17日付け病害虫発生予報防除情報第19号による。

2. べと病

(1) 予報内容：発生程度 並

(2) 予報の根拠

1月前期の巡回調査(12筆)の結果、発病葉率は2.4%(1.4%)、発生圃場率は16.7%(22.0%)であった。

3. うどんこ病

(1) 予報内容：発生程度 並

(2) 予報の根拠

1月前期の巡回調査(12筆)の結果、発病葉率は3.0%(3.5%)、発生圃場率は16.7%(39.1%)であった。

4. 褐斑病

(1) 予報内容：発生程度 少

(2) 予報の根拠

1月前期の巡回調査（12筆）の結果、発生を認めなかった（発病葉率0.1%、発生圃場率4.2%）。

5. 菌核病

(1) 予報内容：発生程度 並

(2) 予報の根拠

1月前期の巡回調査（12筆）の結果、発生を認めなかった（発生を認めない）。

6. 灰色かび病

(1) 予報内容：発生程度 並

(2) 予報の根拠

1月前期の巡回調査（12筆）の結果、発生を認めなかった（発生を認めない）。

7. ミナミキイロアザミウマ

(1) 予報内容：発生程度 やや少

(2) 予報の根拠

1月前期の巡回調査（12筆）の結果、寄生葉率は0.1%（0.9%）、発生圃場率は8.3%（20.9%）であった。

8. コナジラミ類

(1) 予報内容：発生程度 並

(2) 予報の根拠

1月前期の巡回調査（12筆）の結果、寄生葉率は0.4%（0.5%）、発生圃場率は25.0%（15.6%）であった。

(3) 防除上注意すべき事項

ア 密度が高くなると防除が困難になるので発生初期に防除する。

イ タバココナジラミは退緑黄化病の病原ウイルス（CCYV：ウリ類退緑黄化ウイルス）を媒介するので、防除を徹底する。

ウ 薬剤抵抗性発達防止のため、同一系統（令和3年長崎県病害虫防除基準P158～161の「作用機構による分類（IRAC）」参照）の薬剤を連用しない。

トマト

1. 黄化葉巻病

(1) 予報内容：発生程度 並

(2) 予報の根拠

ア 1月前期の巡回調査（12筆）の結果、発生を認めなかった（発病株率0.3%、発生圃場率21.1%）。

イ 防除員からの報告では、発生程度は並であった。

(3) 防除上注意すべき事項

タバココナジラミの防除を徹底するとともに、ハウス内の発病株は二次伝染源となるので、見つけしだい直ちに抜き取り、施設外に持ち出し適正に処分する。

2. 灰色かび病

(1) 予報内容：発生程度 並

(2) 予報の根拠

1月前期の巡回調査（12筆）の結果、果実での発生は認めなかった（過去10か年平均 発病果率0.0%、発生圃場率0.8%）。葉での発病葉率は0.9%（過去8か年平均 0.3%）、発生圃場率は8.3%（過去8か年平均 12.5%）であった。

3. コナジラミ類

令和4年1月17日付け**病害虫発生予察防除情報第20号**による。

たまねぎ

1. 白色疫病

(1) 予報内容：発生程度 並

(2) 予報の根拠

1月前期の巡回調査(16筆)の結果、発生を認めなかった(過去10か年平均 発
病株率0.0%、発生圃場率0.7%)。

2. ネギアザミウマ

(1) 予報内容：発生程度 並

(2) 予報の根拠

1月前期の巡回調査(16筆)の結果、寄生株率は6.3%(9.3%)、発生圃場
率は50.0%(46.1%)であった。

いちご

1. うどんこ病

(1) 予報内容：発生程度 並

(2) 予報の根拠

1月前期の巡回調査(27筆)の結果、発病株率は0.0%(0.0%)、発生圃
場率は3.7%(0.9%)であった。また、果実での発生は認めなかった(発病果
率0.0%、発生圃場率1.9%)。

2. 灰色かび病

(1) 予報内容：発生程度 並

(2) 予報の根拠

1月前期の巡回調査(27筆)の結果、発病果率は0.0%(0.1%)、発生圃場
率は7.4%(12.7%)であった。

3. アブラムシ類

(1) 予報内容：発生程度 並

(2) 予報の根拠

1月前期の巡回調査(27筆)の結果、寄生株率は1.9%(1.4%)、発生圃場
率は29.6%(15.9%)であった。

4. ハダニ類

令和4年1月17日付け**病害虫発生予察防除情報第21号**による。

